

03 新年のご挨拶

04 特集1 龍神地鶏

06 特集2 鶏と田辺

08 おしらせワイド

市民税・県民税の申告について／世界農業遺産認定の地／紀州石神田辺梅林が開園します ほか

12 まちの話題

学んで楽しむ！生涯学習フェスティバル／森の魅力を紙で表現 ほか

14 おしらせボックス

物品入札参加者等追加登録の受付をします／男女共同参画センター各種講座を開催します／市役所職員をかたる不審電話にご注意ください!! ほか

18 みんなの広場

子育てクラブ／我が家の愛ドル／たなベスマイル／防災コラム／まちかど特派員／たなベ散歩／図書館へ行こう

22 相談日程



田辺市長 真砂 充敏

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、平成29年の初春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素は市行政の各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。さて、昨年10月、市内では闘雞神社と4か所の熊野古道が世界文化遺産に追加登録されるといいうれしいニュースがありました。特に熊野の玄関口である市街地に位置する闘雞神社から熊野本宮大社に至る古道が、まさに「世界遺産」というキーワード



# 謹賀新年

## 平成29年1月



田辺市議会議長 吉田 克己

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新年を晴れやかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素より市政の発展と議会運営に対して、ご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。さて、昨年、「闘雞神社」をはじめ、「北郡越」「長尾坂」「潮見峠越」「赤木越」の市内5か所が世界文化遺産に追加登録されました。これを機に、本市の魅力を広く国内外に発信し、交流人口の拡大、更には闘雞神社を核とした中心市街地におけるにぎわいの

創出を展開するなど、今後多面的なまちづくりが期待されます。また、一昨年には、「みなべ・田辺の梅システム」が、世界農業遺産に認定されたところですが、基幹産業である農林水産業の振興が本市の活性化にとって必要不可欠でもあり、地域産品の一層の販路拡大や後継者育成等について、積極的な政策提言に努めてまいりたいと考えています。市議会といたしましても、市民生活の更なる向上と、安全・安心に暮らせる魅力あふれるまちづくりに全力で取り組むとともに、より身近で開かれた議会の実現を目指

でつながることになりました。このことが、新たな人の流れの創出や地域経済の活性化に結び付き、大きなチャンスと捉えるとともに、このような私たちの取組が生み出す新たな付加価値が、本来のまちづくりに、更には地域の誇りや市民の皆様のやりがい・生きがいにつながっていくものであると考えています。一方で、人口減少や少子高齢化など、市を取り巻く環境は厳しい状況にはありますが、こういうときであるからこそ、地域の個性と特色を生かしたまちづくりを進め、市民の皆様にと誇りと愛着を持っていただけ

る、さらに安全で安心して心豊かに暮らせる魅力ある田辺市の実現に向けて、市民の皆様とともに歩を進めてまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年1月が、田辺市にとりまして更なる飛躍の年となることを願ひ、併せて、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。まして、新年のご挨拶といたします。

し、議員一丸となって誠心誠意取り組んでまいりますので、どうか今後とも、力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。結びに、今年一年が皆様方にとりまして幸せで実り多い年となりますことを心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。市民の皆様、新年おめでとうございます。公職選挙法により、議員は年賀状、寒中見舞状などの挨拶状(答礼のための自筆によるものは除く)を出すことが禁止されていますので、本紙上をもって年賀のご挨拶に代えさせていただきます。本年もよろしくご願ひ申し上げます。市議会議長一同

### 主な電話番号等

- 田辺市役所 〒646-8545 新屋敷町1  
☎ 0739-22-5300(代) ☎ 0739-22-5310
- 市民総合センター 〒646-0028 高雄一丁目23-1  
☎ 0739-26-4900(代) ☎ 0739-26-4914
- 龍神行政局 〒645-0415 龍神村西376  
☎ 0739-78-0111(代) ☎ 0739-78-0116
- 中辺路行政局 〒646-1492 中辺路町栗栖川396-1  
☎ 0739-64-0500(代) ☎ 0739-64-0966
- 大塔行政局 〒646-1192 鮎川2567-1  
☎ 0739-48-0301(代) ☎ 0739-49-0359
- 本宮行政局 〒647-1792 本宮町本宮219  
☎ 0735-42-0070(代) ☎ 0735-42-0239
- 市水道事業所 〒646-0028 高雄三丁目18-1  
☎ 0739-24-0011(代) ☎ 0739-24-7910
- 市ごみ処理場 〒646-0053 元町2291-6  
☎ 0739-24-6218(代) ☎ 0739-24-4068

### 電話案内サービス

- 防災行政テレフォンガイド ☎ 0120-963-910
- 救急安心センター ☎ #7119

### 休日急患診療

場田辺広域休日急患診療所(市民総合センター玄関右側)  
 ☎内科・小児科系、歯科の応急診療  
 日曜☎④ 18時～21時30分(小児科のみ。年末年始を除く。)  
 ☎④ 9時～11時30分、13時～16時  
 ☎④ 12/30金～1/3火 9時～11時30分、13時～17時  
 時間☎ 0739-26-4909



### 今月の表紙



鶏さん、元気だね～!

今月の表紙は、龍神地鶏を見つめる久保花梨ちゃんと廣岡芭菜ちゃんを撮影しました。物怖じせずに鶏小屋に入ったり、二人とも勇敢でした!でも、鶏たちがにぎやかに動いていた時は、ちょっと怖かったかな?

### マークの説明

- ☎…日付・期間
- 🕒…時間
- 🏠…休館日
- 📍…場所
- 👥…集合
- 📄…内容
- 👤…対象・参加資格等
- 👤…定員
- 💰…料金・費用
- 👜…持ち物
- 📄…申込み・申請方法
- 🗨️…問合せ
- [消印]…消印有効
- [先着]…先着順

◇☎マークには、振替休日等も含まれます。  
 ◇申込み・問合せ等の受付については、基本的に④⑤を除く8時30分～17時15分です。  
 ◇料金の記載のないものは、無料です。  
 ◇申込み方法の記載のないものは、申込み不要です。  
 ◇市役所の開庁時間は、☎を除く④～⑤の8時30分～17時15分です。毎週④は、市民課・保険課・税務課の一部窓口を19時まで延長しています。  
 ※今年度の年末年始の閉庁は、一部の業務を除き12月29日④～1月3日④です。

ツイッター・フェイスブックでも市の情報を発信しています。  
 ☎http://www.city.tanabe.lg.jp/jyouhou/sns.html



## 酉年特集 1

# 龍神地鶏

皆さんは「龍神地鶏」をご存知でしょうか。その名のとおり、龍神地域で昔から育てられてきた鶏なのですが、この鶏がこのままではいなくなってしまうかもしれないという危機に瀕しています。

今月は、とても貴重で、そして歴史のある龍神地鶏をご紹介します。

☎ 0739-26-9930

☎ 0739-78-0830

### ■参考文献

和歌山県 (2014) 「龍神地鶏の保存」 <<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070109/gaiyou/005/topix/documents/h26-3-ryuzin.pdf>> (参照 2016-11-24)

岡孝夫ほか (2008) 「マイクロサテライト DNA 多型情報にもとづく龍神地鶏の遺伝的多様性

龍神地鶏は、龍神村固有の希少な日本鶏であり、遺伝学的・学術的に貴重な地鶏です。その歴史は古く、300年以上にわたって飼育されているという記録が残っています。

現在、龍神地域で育てているのはたったの2軒。そのうちの1軒、寒川清さんは小さいときから鶏の世話をしてきました。「今は、他の鶏と混ざらないように、小屋のなかだけで育てていますが、昔は外に放して育てていました。そのときに一度だけ

逃げ出したことがあって、川に向こうまで飛んでいったことがありました。体はあまり大きくないですが、そんな力強さも持っています」

かつては、村内の多くの家庭で育てられていたという龍神地鶏。ペットとして、また卵を採るために飼われていたそうです。しかし、元々生まれる卵の数が少なかったことや近親交配が進んだことで数が減っていき



### 【雌】(写真上)

- ◇体重 約 1,300 グラム
- ◇体長 約 20 センチメートル
- ◇特徴 先端が黒く縁取られた覆輪ふくりんといわれる羽毛がほぼ全身に生えている。



### 【雄】(写真下)

- ◇体重 約 1,500 グラム
- ◇体長 約 25 センチメートル
- ◇特徴 赤笹といわれる模様で、頸羽・けいわ 翼羽が赤褐色で、翼や胸部・みのわ 尾羽は黒い。

### 「保存運動の始まり

平成20年、秋篠宮殿下・東京農業大学・(財)進化生物学研究所等による論文が発表されました。そこには、龍神地鶏は、他の日本鶏との遺伝的な交わりがなく、龍神村で古くから飼育されている固有の種であること、特定の地域で少数の個体だけで維持されてきたため、近親交配が進み、遺伝的多様性(種の中の遺伝的な違い)の減少が懸念されることが記されていました。

これを受け、平成24年に養鶏研究所と広島大学日本鶏資源開発プロジェクト研究センターが共同で、龍神地鶏保存事業を始めました。その調査では、平成24年時点で、県の養鶏研究所・龍神村の2軒、岩出市・奈良県宇陀市の愛好家の合計5か所で68羽の飼育が確認されました。この数字は、絶滅の危険性を減らすには十分な羽数とは言えません。そこで広島大学でも飼育を開始、さらに平成25年には龍神地鶏の純血種を確実に保存していくため、飼養者・広島大学・養鶏研究所等による「龍神地鶏保存協議会」が設立され、確実な保存に向けた取組が始まりました。

### 「活動の結果と活用に向けて

こうした取組の結果、平成28年度の調査では、全体で350羽と大きく個体数を増やすことができました。しかし、まだ課題はあります。現在の交配方法では、卵がかえる率が低いこと、また、産まれる個体の約7割が雄だったことから、今後は必要な雌の数をどうやって増やすかが重要になります。

寒川さんはこの数十年、飼養者として龍神地鶏の変化を直接見てきました。

「ずっと前の世代から祖父や父、そして私へと、龍神地鶏の歴史をつないできました。鶏を飼っている私たちが直接研究に携わることができるかもしれませんが、できる限り協力し、龍神地鶏の行く末を見守っていきたいと思います」

龍神地鶏の生態については、調査が行われるようになってからも、不明な部分が多いそうです。300年以上受け継がれてきた龍神地鶏の歴史は、龍神村の歴史でもあります。龍神地鶏を多くの方に知ってもらい、適切に活用していくことこそが、龍神地鶏の真の保存につながるのではないのでしょうか。

# 鶏と田辺

酉年特集2

ゆかりのある場所や人物を紹介



## 鶏と闘雞神社

闘雞神社は、壇ノ浦合戦で源氏を勝利に導いた熊野水軍の伝説が今に伝わる神社です。闘雞神社の名の由来は、平家物語壇ノ浦合戦の故事によるもので、源氏と平氏の双方より熊野水軍の援軍を要請された武蔵坊弁慶の父であるといえらる熊野別当混増が、どちらに味方をするかの神意を確認するため、神社本殿の前で赤を平氏、白を源氏に見立てた紅白7羽の鶏を闘わせたことによるものです。境内の一角にはその様子を再現した混増と弁慶像があります。

また、毎年開催されている弁慶まつりでは、演劇「弁慶伝説」として武蔵坊弁慶にまつわる様々な伝説や、源氏と平家の合戦を占う闘雞も見事に再現されています。

間◇観光振興課

☎0739(26)9929

◇文化振興課 文化財係

☎0739(26)9943



▲今年の演劇での一幕

## 鶏と南方熊楠

南方熊楠は、大正3年(寅)〜12年(亥)にかけて、当時の雑誌『太陽』(博文館)に、その年の干支をテーマにした論考を発表しました。これらの論考は、総称して「十二支考」と呼ばれています。内容は、そのテーマの動物について、生態や伝承、民俗などを、古今東西の書物から引用するだけでなく、熊楠独自の見解を書き連ねています。

大正10年に5回にわたって連載された「鶏に関する民俗と伝説」は、十二支考の中では、8番目に当たります。また、鶏に関しては太陽への連載だけではなく、派生的な話題が他誌にも寄稿されています。もともと、明治42年の『海南時報』(加藤陽三主宰)に掲載された「鶏の話」は、その年の干支についての知識を披瀝するといふ十二支考の原型となるようなもので、鶏に関する民俗と伝説は十二支考初の2巡目の作とも言えます。

他にも、妻の松枝の実家は闘雞神社であったことなど、鶏と熊楠には深い関係があったと言えます。

これらの内容は、南方熊楠顕彰館で展覧会として1月8日@まで開催しています。

間◇南方熊楠顕彰館

☎0739(26)9909

## 田辺の酉年を祝

◎正確には丁酉  
干支は、十干と十二支を順番に1つずつ合わせたもので、今年は丁酉となります。十干は甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸、十二支は子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥です。

◎酉は鶏？  
十二支には動物の意味はなく、覚えやすくするために身近な動物にしたといわれています。

本来、十二支は、古代中国で月や時刻、方角を表すものとして用いられてきました。  
・酉の月：旧暦8月、おおむね新暦9月  
・酉の刻：おおむね18時の前後頃  
・酉の方：西の方角

◎酉の漢字の意味  
果実が、成熟した状態を表しているといわれています。

◎酉年の守護本尊  
守護本尊とは、生まれてから死ぬまで、その人の一生を守り続けてくれる仏様のことです。十二支に基づき八体の「本尊」があり、酉年の守護本尊は不動明王です。不動明王のご利益は、病魔退散・家内安全・商売繁盛などがかなうとされています。

◎鶏を用いた言葉  
・鶏群の一鶴：多くの凡人の中に、一人だけ抜き出て優れた人がいることのとこえ。  
・鶏口牛後：大きな集団や組織の末端にいるより、小さくても長となって重んじられる方が良いということ。  
・鶏を割くに馬んぞ牛刀を用いん：取るに足りない小さなことを処理するのに、大掛かりなことをする必要はないということ。

